

数学

広島大学

Ⅲ型

(前期日程)

<全体分析>

試験時間	150 分	解答問題数	5 題
------	-------	-------	-----

<p>解答形式 記述形式</p> <p>分量・難易 (前年比較) 分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加) 難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)</p> <p>出題の特徴 数学Ⅲからの出題が多い (3題)。</p> <p>その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など) ⅡB型との共通問題、同内容の出題が1題ずつあった。</p>

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[1]	図形と計量 三角関数	I II	三角形と長方形の面積の和の最大	標準
[2]	複素数平面	III	$w = \frac{z-i}{z+1}$ と表すことによる複素数平面上の点の軌跡	標準
[3]	微分法・積分法	III	曲線外の点から曲線に引いた接線の本数	標準
[4]	積分法	III	周期関数と、回転体の体積	標準
[5]	確率	A	さいころと硬貨を投げるときの確率 条件付き確率	やや難

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

<p>過去には整数の性質、ベクトル、数列に関する出題も多い。まず全分野にわたり基本を身につけた上で、融合問題などにも取り組んでいこう。また、計算も最後までやり抜くようにしてみよう。</p>
--